

深浦会東京だより

第18号

深浦会東京 事務局
〒154-0011 東京都世田谷区上馬4-23-7
トボス・M. 駒沢102
TEL 03-3418-0914
FAX 03-3422-0483

第10回定期総会・交流会

「深浦会東京」10周年迎え盛大に開催

たっぷりとふるさとの味となまりに触れ、心ゆくまで楽しむ

「深浦会東京」の第10回定期総会・交流会は、本年4月18日午後1時から東京品川区立総合区民会館「きゅりあん」で、関東在住者を中心とした深浦町出身者で構成する会員260人が出席、ふるさと深浦町から平沢町長をはじめ町議会や、農協、漁協、商工会など各団体から約50人が出席し、総勢約300人で盛大に開催されました。定期総会では、平成13年度活動・会計・監査報告及び平成14年度活動計画や予算案を審議し、議案通り承認されました。平成14年度活動は、①会報「深浦会東京だより」の発行(年一三回程度)②深浦町「広報ふかうら」(拜啓ふるさとに寄せ)への寄稿③深浦町「広報ふかうら」の購読案内の継続④「成人交流会」(ふるさと訪問ツアー)

の開催⑤深浦特産品の販売促進(電気まつり等)⑥「深浦のお相撲さん」を励ます会への協力の会員名簿の調査・整備⑧「深浦会東京」一〇周年記念事業⑨第一回定期総会・交流会の準備⑩他の「ふるさと会」との交流などが承認されました。黒滝進会長は「楽しい交流を行い深浦会東京は一〇周年を迎えることが出来た。今日はたっぷりとふるさとの味となまりに触れ、心ゆくまで楽しんで下さい」と挨拶。平沢敬義町長は、町の振興・発展に向けた取り組みの紹介を交え「今日はふるさと深浦を懐かしみながら、交流会を大いに楽しんで下さい」と祝辞を述べられた。交流会では、会場に深浦町商工会の女性部のみなさんがつくった、深浦から直送便のヒラメの刺身やサザエ蒸し、アンコウのとも和え、ばっけみそ、つるつるわかめのサラダ、笹餅、ホッケのみれ汁などの「郷土料理」がテーブルいっぱいに並び、出席者は懐かしい料理に舌鼓を打ちながらそれぞれに久しぶりに会う友達と記念撮影したり、ワイワイガヤガヤする中でなごやかに近況を語り合っていました。恒例のウエスバ、棒山コージの宿泊券や深浦特産品が当たる抽選会では、当選番号が発表される度に会場のあちこちから歓声が上がるなど大盛況でした。

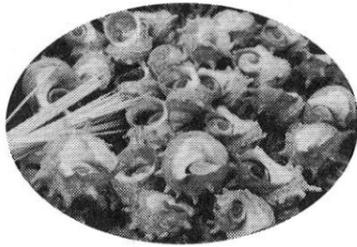
楽しいひとときを過ごした出席者は、深浦町を思い浮かべながら全員で「ふるさと」を大合唱し、互いに来年の再会を約束して会場を後にし、記念交流会を終了しました。出来ました。今日はたっぷりとふるさとの味となまりに触れ、心ゆくまで楽しんで下さい」と挨拶。平沢敬義町長は、町の振興・発展に向けた取り組みの紹介を交え「今日はふるさと深浦を懐かしみながら、交流会を大いに楽しんで下さい」と祝辞を述べられた。交流会では、会場に深浦町商工会の女性部のみなさんがつくった、深浦から直送便のヒラメの刺身やサザエ蒸し、アンコウのとも和え、ばっけみそ、つるつるわかめのサラダ、笹餅、ホッケのみれ汁などの「郷土料理」がテーブルいっぱいに並び、出席者は懐かしい料理に舌鼓を打ちながらそれぞれに久しぶりに会う友達と記念撮影したり、ワイワイガヤガヤする中でなごやかに近況を語り合っていました。恒例のウエスバ、棒山コージの宿泊券や深浦特産品が当たる抽選会では、当選番号が発表される度に会場のあちこちから歓声が上がるなど大盛況でした。



アンコウのとも和えなどふるさとの味に舌つづみ



福引大会で大当たり



深浦産のさざえのツボ焼き



最後にみんなで「ふるさと」を大合唱

ふるさとから参加して

仲間がいたから できた良い体験

商工会 女性部部長 宮本千恵子

深浦会東京の会員の皆様にはいかがお過ごしのことでしょうか。今回は一〇回目の節目の交流会に参加できました。たことうれしく思っております。更に、商工会女性部として参加できるとは、部員一同思ってもいませんでした。お話をいただいたから三週間、定期的に山菜もありませんでしたので、献立を決める

まで、限りある予算の中で試行錯誤の毎日を通しました。当日、交流会の会場に料理を並べ終えた時、みんなではっとして、肩の力が抜けるような感じでした。それでも受付が始まって、親戚の方や友人、知人の顔が一つ、二つと増える毎に少し前までのことをすっかり忘れて、後は少しも早く皆さんに食べていただきたいと思いが、式次第

の苦労も報われるのではと思います。私達にとって最大の成果は東京までいけなかった部員の皆様の協力があったことです。先日、反省会と慰労会を東京まで行けなかった部員も参加して開催をし、改めて深浦会東京の交流会の話に花を咲かせました。継続は力なりと申しませんが、継続することは大変な努力が必要だと思えます。今後とも、役員担当の方、役員の皆さん、そして会員の皆さんの益々のご活躍とご健勝を祈ると同時に世話になりました皆様にお礼申し上げます。深浦会の今後益々のご発展をお祈り申し上げます。

事務局から一す

1. 年会費の納入のお願い 年会費を未納の方は大変申し訳ございませんが、平成14年度分の年会費1,000円のお振込みをお願い致します。昨年度は、230名余の方からお振込みを頂いております。振込手数料はいりません(当会負担)。詳しくは事務局にお問い合わせ下さい。
2. 「広報ふかうら」購読申し込みご希望の方へ 深浦町で毎月発行しております。ふるさとの情報がいっぱい会員には好評です。購読希望の方は年間購読料2,000円をお振込みください。振込手数料はいりません。(当会負担)詳しくは事務局にお問い合わせ下さい。
3. 投稿のお願い 「広報ふかうら」「深浦会東京だより」への投稿を募集しております。内容は一切問いません。活字数・600字位(写真貼付も)。事務局迄ご郵送ください。投稿者には、深浦にちなんだ記念品を贈呈いたします。
4. 住所変更、姓名が変わった方は忘れずに事務局迄ご連絡してください。
5. 名簿提出のお願い 同期会、同窓会等の名簿を事務局迄お願いします。
6. 会報への「広告」を募集しています。ご希望の方は事務局迄ご連絡ください。(1口1万円より)

深浦の歴史 ⑦

◆連載◆ 深浦町文化財審議委員 森山嘉蔵

今甞える中世戦国の深浦

①為信、大浦城主となる
後代に弘前藩祖となった為信は、父守信の嫡男として天文十九年(一五五〇)一月、西浜赤石城(鯉ヶ沢町日照田)で出生したとされている。父武田守信が、病弱な兄大浦為則の名代として出陣し、桜庭の合戦で討死の後には堀越城で成長し、永禄十年(一五六七)、叔父でもある大浦城主為則の娘成姫のムコとして大浦城に入った。ときに為信十八歳。有望な後継者を得て気がゆるんだか、城主為則は日を待たずして死没した。かくして為信は、光信五代の後裔として大浦城主となった。

②為信、反南部の兵を挙げる
一鴨ノ十兵衛・島の与助の武器輸送、大浦城主に就いた為信は、戦国甜の畿内・上方の中央状勢及び北奥の状況をよく掴み、その心底

③為信、北畠氏の浪岡御所を攻める
石川城・和徳城・大光寺城・乳井城等々、津軽郡内の城館を次々と落城させ、破竹の勢いに乗る為信は、出羽庄内の大宝寺義氏との攻守同盟の密約を成功させた。この機を逃さず為信は、天正六年(一五七八)七月、北畠頼家の血を引くという、

④榎山屋形安東愛季 津軽攻略
頭村の正室は、能代榎山屋形で、北奥の斗星の如しと言われる安東愛季の娘であった。為信の浪岡御所への攻撃は、明らかに愛季への挑戦であった。愛季は天正八年夏、為信討伐の津軽攻略をした。比内勢を動員した安東勢は碓ヶ関口から侵攻し、大浦勢が陣する平賀庄の茶臼館、沖館を襲った。一方、海岸の深浦口には、八森城に勢揃いしていた大高・横木・大袋・武田の有力武将の率いる榎山勢が中山峠から攻め込んだのである。尤も愛季は、大宝寺義氏の北方攻撃軍勢のため、秋田を離れることが出来ず、為信討伐の采配を振れなかったという。

⑤三戸南部氏帰属からの逸脱、津軽覇権の掌握を期していた。この中で調略を重ねて出羽山形の城主最上義光と親交を結び、遂に武器・軍資金の援助を手中にした。この援助武器は、鴨ノ十兵衛・島の与助の手によって海上輸送されて来た(現北金ヶ沢の鴨家、関の島家の祖)。

⑥榎山屋形安東愛季 津軽攻略
頭村の正室は、能代榎山屋形で、北奥の斗星の如しと言われる安東愛季の娘であった。為信の浪岡御所への攻撃は、明らかに愛季への挑戦であった。愛季は天正八年夏、為信討伐の津軽攻略をした。比内勢を動員した安東勢は碓ヶ関口から侵攻し、大浦勢が陣する平賀庄の茶臼館、沖館を襲った。一方、海岸の深浦口には、八森城に勢揃いしていた大高・横木・大袋・武田の有力武将の率いる榎山勢が中山峠から攻め込んだのである。尤も愛季は、大宝寺義氏の北方攻撃軍勢のため、秋田を離れることが出来ず、為信討伐の采配を振れなかったという。

⑦深浦口攻撃の榎山勢を迎え討ったのは、天正年間(一五七三)の深浦城主千葉弾正であった。深浦中山街道に築造された元城館址には、当時の緊張を物語るように、五重の空堀り、縦土塁、縦堀りが残っているが、合戦についての詳細は不明である。(深浦に関する中世史の本「北の環日本海世界」・山川出版社)が発売されています。

「深浦会東京」10周年記念事業

I. 故郷・深浦への寄附を募ります

深浦会 東京会長 黒 滝 進

寄附金募集要項

1. 寄附事業名 「深浦会東京」10周年記念事業
2. 寄附目的 深浦町奨学資金の一部として
3. 寄附内容 1口 1,000円(何口でも可)
4. 目標額 300万円～500万円
5. 申込受付期間 平成14年7月25日～9月30日(2ヶ月半)
6. 寄附金払込方法 同封の「10周年記念事業寄附金」の振込用紙に口数と金額を明記の上、郵便振込みで、お振込み下さい。(振込手数料は当会が負担します)
7. 寄附金の提供時期・場所 平成14年10月の「ふるさと訪問ツアー」深浦町で
8. その他 寄附された方は、次号の会報「深浦会東京だより」に氏名のみを掲載させていただきます。
以上

「深浦会東京」は、平成四年に結成され、今年で10周年を迎えました。この節目となる年を記念して、当会では「10周年記念事業」に取り組みることになりました。事業内容を、故郷・深浦への寄附行為と決定し、このことは本年四月の定例総会で承認されました。

私たちが深浦で生まれ、育ち、中学、高校を卒業ののち、故郷・深浦を離れ、異郷の地に向った年代は、ふるさとから一方的に恩恵を受けた時期でした。それぞれがその間に受けた恩恵は、計り知れないものがあります。時折、当時を回想して、多くの人はその意識の中に、いつか、何らかの形で、故郷に恩恵の半分の一でもお返ししたいものだ、との心情が湧くとい

われます。しかし、このような潜在意識は通常個人では、なかなか実行に移し難い傾向や性質をもつものです。このような傾向に思いを致し、当会では、会の10周年の記念事業を奇貨として、皆様にその思いを現実化して頂きたいと考え、問い掛けること

故郷の教育支援の一助に

にしたものです。従いまして、この寄附事業は、誰もが気軽に、しかも多くの人に賛同して貰い、実行に移して頂ける内容と致しました。寄附は、一口千円とし、何口でもお受けすることが出来る形式としました。寄附金の使途は、多くの人が関心を抱く教育関係で、深浦町の奨学資金

の一部として、活用して貰うことにしました。使途を教育関係としたのは、国の教育統計によると、青森県の上級学校への進学率は、全国的にみて依然低位にあります。その理由の一つとして、経済的な事情から進学を断念した人が、未だ相当数いるのではと推測されて

II. 「ふるさと訪問ツアー」開催のお知らせ

今般、「深浦会東京」の10周年を記念して、我々のふるさと「深浦」へのツアーを企画しました。多数の方の参加をお待ちしておりますので、奮ってご応募下さい。

1. 期 日……10月17日(木)～10月20日(日)
2. 募集人員……18名
3. 対象者……深浦町出身者及びそのゆかりの人
4. プログラム……下記のとおり
(多少、変更になる場合があります)
5. 参加費用……36,000円
※交通費、宿泊代、食事代、旅行保険料込
6. 申込方法……8月15日までに事務局へご連絡下さい。
※尚、先着順にて定員となり次第、締切とさせていただきます。
7. 申込先……深浦会東京事務局
TEL 03 (3418) 0914 FAX03 (3422) 0483
8. その他…参加人数が少ない場合には、取止めの場合もございますので、あらかじめご了承下さい。

ふるさと訪問ツアープログラム

10月18日(金) 町有大型バス

時間	プログラム	場所	プログラム内容
10月17日 22:00	品川バスターミナル出発		夜行バス
10月18日 8:15	五所川原駅前着		深浦へ移動する車内で、朝食(おにぎり)
8:20～10:00	深浦へ移動		途中、北金ヶ沢の大いちょう見物
10:00～11:00	休憩	ゆとり温泉	洗顔、入浴、休憩
11:05～11:35	資料館 見学	資料館	
11:50～12:10	岡崎海水浴場 見学		海水浴場まで新設された地下道のPR
12:15～13:05	昼食	ペンション深浦	
13:20～14:20	町長との懇談会	文化ホール	町づくりについて説明。その後、懇談会。町長ほか。
14:25～14:50	移動		
15:00	チェックイン	ウェスパ椿山	
16:00～16:40	スロープカー乗車	"	展望台へ。その後、フリータイム。物産館、ガラス工房18時まで営業。
18:30	夕食	レストラン	メニュー深浦丼
宿泊場所	宿泊棟		
ウェスパ椿山	旧コテージ		

10月19日(土) 白神観光バス(25人乗り)

時間	プログラム	場所	プログラム内容
9:00	ウェスパ椿山出発		
9:30～10:20	円覚寺見学	円覚寺	徒歩 円覚寺～旧秋田屋旅館～ピアハウス
10:25～10:40	旧秋田屋旅館見学	旧秋田屋旅館	
10:45～11:15	買い物	ピアハウス	

時間	プログラム	場所	プログラム内容
11:30～12:00	チャンチャン祭り開会式	夕陽公園	寄金 贈呈式
12:00～13:30	昼食	"	チャンチャン焼き
13:30～14:00	移動	長慶平	
14:00～15:00	きのこ狩り	伊藤さん宅	なめこ狩り体験(1kg)、宅配便扱。
15:10～16:00	移動		
16:00	チェックイン	ウェスパ椿山	希望者は不老ふ死温泉の露天風呂へ送迎する。入浴料自己負担。日の入り16時40分ころ。
18:30	会食		懇親会 レストラン内 サロンデグロン(椅子又はじゅうたん敷き、カラオケ利用可)
宿泊場所	宿泊棟		
ウェスパ椿山	旧コテージ		

10月20日(日) 町有大型バス

時間	プログラム	場所	プログラム内容
9:00	ウェスパ椿山チェックアウト		
9:10～9:50	移動		
9:50～10:10	かそせいか焼き村	風合瀬	施設見学
10:15～11:00	移動		
11:10～12:30	ミニ白神 散策	鯉ヶ沢町	世界遺産「白神山地」山系のブナ原生林の散策
12:30～13:20	昼食(弁当)	"	
13:30	青森空港へ出発		
16:00	青森空港 到着		
17:05	青森空港 出発		
18:10	羽田着		JAS 便